GAUDI

500万画素CMOSイメージセンサー搭載

SDメモリーカード対応デジタルビデオカメラ

取扱説明書

GHV-DV24SD

目次

はじめに

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、お読みになった後も本書を大切に保管してください。

本書について

当社では、事前の通知なしに同梱物や内容または技術上の仕様を変更することがあります。

- 本製品は日本国内専用に製造および販売されています。
  This product is manufactured and sold for japanese domestic market only.
- 本製品は日本国外では使用できません。
  This product can not be used outside japan
- 日本以外で使用された場合に生じたいかなる問題に対しても弊社は責任を負いかねます。
  We have no responsibility for any issues caused by the
  use of this product outside japan.
- 日本以外の国での製品の技術サポートおよびサービスは一切行っておりません。
  We also do not have technical support and service for this product
  in othercountries.

著作権について

本取扱説明書の著作権は株式会社グリーンハウスに帰属します。権利者の、許諾を得ることなく、取扱説明書の内容の全部または一部を複製や配布をすることは、禁止されています。

録音・録画に際してのご注意

大切な撮影の前や、長期間ご使用にならなかったときは、必ず事前に、ためし撮りを行い、正常に撮影や録音されている事を確かめてください。本製品および記録メディアの不具合で撮影や録音されなかった場合の保証につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

著作権にお気をつけください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずよくお読みください

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示の意味は下記のとおりです。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、⚠**注意**に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性がございます。
必ず「ご使用上の注意」を守ってください。

絵表示の例

	⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
	⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
	❗ 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

警告（もし異常が起こったら）

● 煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、直ちに電源スイッチをOFFにしてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社カスタマサポートに修理をご依頼ください。お客様による分解、修理等は危険ですから絶対おやめください。

● 内部に水や異物が入った場合は、直ちに電源スイッチをOFFにしてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

警告（もし異常が起こったら）

設置について

禁止

● 電池やメモリカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

※ 万一、飲み込んだと思われるときは、直ちに医師にご相談ください。

禁止

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本製品が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

使用について

水場での使用禁止

● 風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない

火災・感電・また製品の故障の原因となります。

水ぬれ禁止

● 水が入ったり、ぬらさないようにする

本製品、及び専用 AC アダプタは防水設計されておりません。ぬらさないように十分ご注意ください。内部に水が入ると、製品の故障・火災・感電の原因となります。

分解禁止

● 修理・改造・分解はしない

本製品のキャビネットを外したり､改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社カスタマサポートにご依頼ください。

禁止

● 電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本製品の温度の高い部分に、長時間直接触れていると、低温やけどの原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

禁止

● 内部に異物を入れたり、水などの液体をかけたり、濡らしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・製品の故障の原因になります。

※ 本機の近くに液体の入った容器や金属物を置かないでください。

※ 特にお子様にはご注意ください。

接触禁止

● 雷が鳴り出したら本製品の金属部に触れない

感電の原因となります。

禁止

● 乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

※ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

設置について

禁止

● 温度が高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、製品の破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止

● 調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災･感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。

使用について

注意

● 接続する機器の取扱説明書の指示に従う

テレビ、オーディオ機器等の AV 機器に本製品を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は同梱の専用 USB/AV ケーブルを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけど等の原因となることがあります。

禁止

● フラッシュ発光中に、近くで発光部を直接見ない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

禁止

● レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損して火災の原因になることがあります。

指示に従う

● 飛行機内 / 病院内で使うときは、航空会社 / 病院の指示に従う

本製品が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になる場合があります。また､病院などで使うときも病院の指示に従ってください。

禁止

● **製品の上に重い物を載せたり、乗ったりしない**

倒れたり落下すると､けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量でキャビネットが変形し、内部部品が破損すると、火災・製品の故障の原因となることがあります。

禁止

● **内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする**

砂やほこりは、製品の故障につながります。

※ 浜辺などの砂やほこりの多いところでのスイッチ類の操作は十分ご注意ください。また出来るだけ SD カードの出し入れは行わないでください。

電池について

禁止

● **指定以外の電池は使用しない**

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

● **極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示通りに入れる**

間違えると、製品の故障や電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

● **長時間使用しない時は、電池を取り出す**

● **電池の［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない**

電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、直ちにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止

● **充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない**

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

保守・点検について

● **お手入れの際は安全のために、電源を切った上電池を抜いてから行ってください**

感電の原因となることがあります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

本製品について

● 使用中はビデオカメラ本体や SD カードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気 / 電磁波が発生するところからはできるだけ離れて使う

● 携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機、スピーカーの上や近くで操作をすると電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。本製品が影響を受け、正常に動作しないときは、電池を一度外してからあらためて装着し直し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

● 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で映像や音声が乱れることがあります。

動作中はバッテリカバーを開けないでください

● 電源 ON 時にバッテリカバーを開けると本製品が故障したり、メモリカードを破損したりする恐れがあります。本製品の動作中にはバッテリカバーを開けないでください。開けるときには必ず電源を OFF にしてください。

置き場所についてのご注意

● 本製品が落下した場合にけがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

● 車内に長時間放置した場合、本体の変形や電池の破損、液漏れなどが発生する場合があります。

● 次のような場所への設置は避けてください。

・直射日光のあたる所
・湿気の多い所や風通しの悪い所
・極端に暑い所や寒い所、急激な温度変化のある場所
・振動のある所
・ほこりの多い所
・油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

1 本製品について

本製品の特長や機能、付属品を確認します。

1.1 システム要件

ビデオカメラには、次の仕様を満たしたパソコンが必要です。

- Windows® XP(SP2/32bit版), 2000(SP4), Vista (32bit 版)
- Intel® Pentium III 500MHz 以上の CPU
- 最低 32 MB の RAM
- USB 1.1 以上の USB ポート
- 4 倍速以上の CD-ROM ドライブ
- 200 MB 以上の空きディスク容量

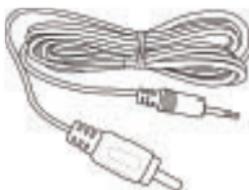
注意

USB 1.1 ポートを使用してのデータ転送は、USB 2.0 ポート使用の時よりも著しく低速になります。

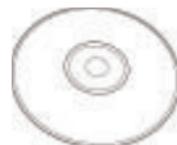
1.2 特長

ビデオカメラには、以下のようなさまざまな機能と特長があります。

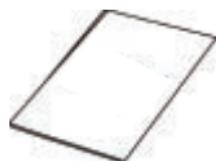
- ASF形式での動画撮影が可能
- 2.4型 TFT カラーモニタ搭載
- ズーム・マクロなど多彩な撮影機能
- カラー・白黒・セピアの 3 種類のカラーモード
- ダイレクトプリント対応の静止画撮影 (JPEG) 可能
- ボイスレコーダー機能搭載
- USB マスストレージ機能搭載
- みんなで楽しめる TV 出力機能搭載
- 音楽が聞けるMP3プレイヤー機能搭載
- 手振れ軽減機能搭載

1.3 同梱品の確認

パッケージには、次の品目が含まれます。欠品している場合や壊れているものがある場合は、すぐに弊社カスタマサポートまでお問い合わせください。

ビデオカメラ本体

専用音声出力ケーブル

専用映像出力ケーブル

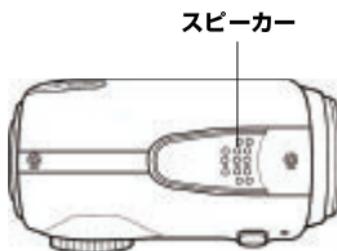
リストストラップ

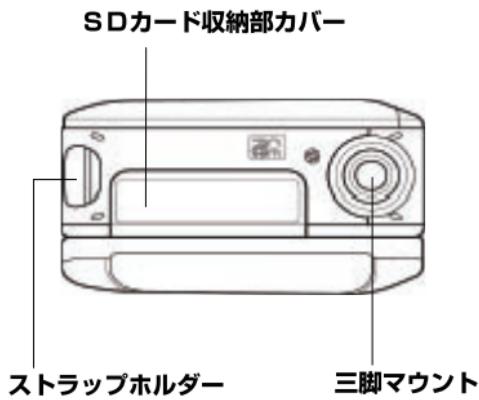
ポーチ

CD-ROM(ドライバおよびアプリケーションソフトウェア)

イヤホン

単４形アルカリ乾電池

取扱説明書 (本書)

専用USBケーブル

・１年間保証書
・クイックスタートガイド

1.4 各部のなまえ

1.4.1　正面

1.4.2　上面

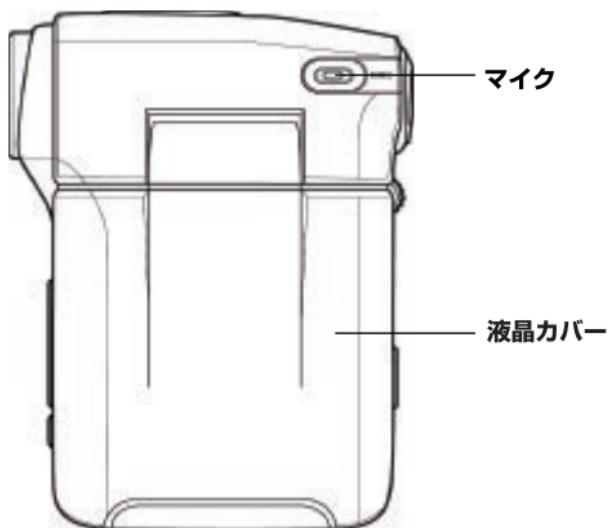
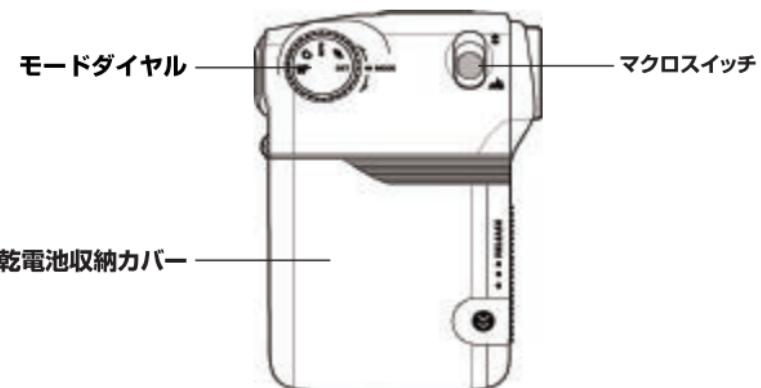
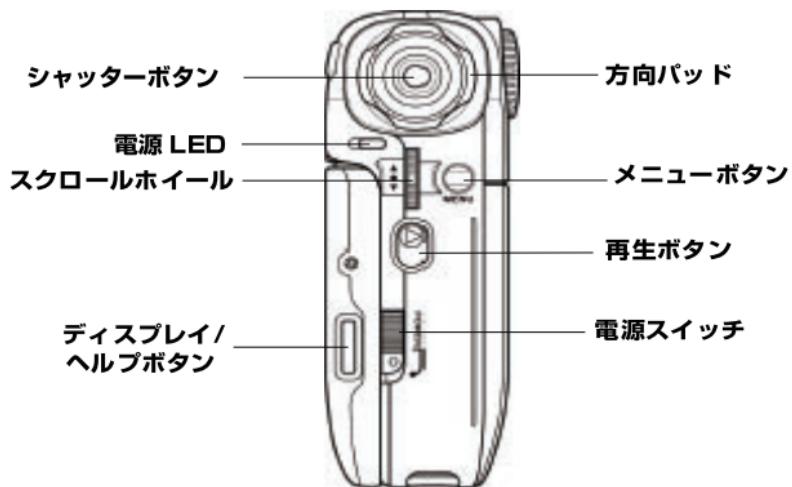
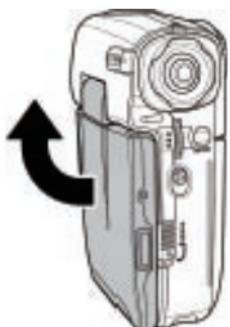
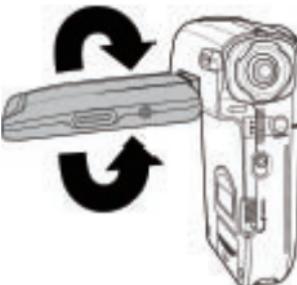
1.4.3　底面

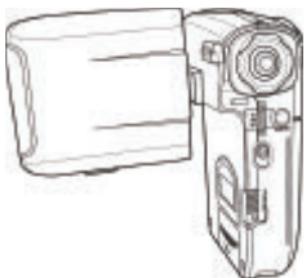
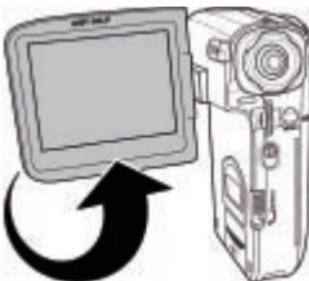
1.4.4　右面

1.4.5　左面

モードダイヤル
マクロスイッチ
乾電池収納カバー

1.4.6　後面

シャッターボタン
方向パッド
電源 LED
スクロールホイール
メニューボタン
再生ボタン
ディスプレイ/
ヘルプボタン
電源スイッチ

1.4.7　LCD 表示の調整

撮影するときは、液晶カバーを 90°開き (①)、見やすい角度に調整してください (②③④)。

1.4.8　各ボタンの機能説明

各ボタン機能の説明は、下表を参照してください。

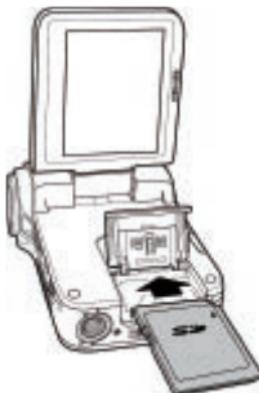
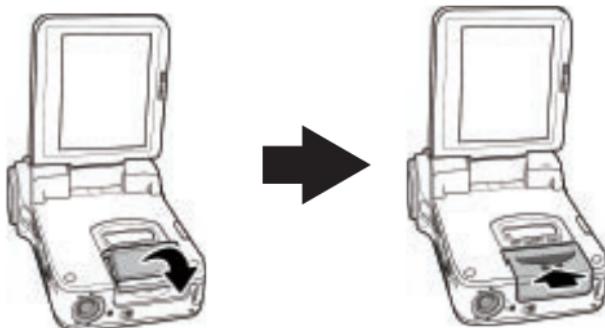
ボタン	名称	機能
	電源 スイッチ	電源スイッチを下にスライドさせて**電源のオン / オフ**を切換えます
	メニュー ボタン	このボタンを押して、**メイン OSD メニュー**を表示します
	モード ダイヤル	このボタンを使って、**動画、静止画、MP3、音声** および **システム設定** モードを切換えます
	方向 パッド	● **動画モード** ・下…画質を選択 ・左…ホワイトバランスを選択 ・右…特別効果を選択 ● **静止画モード** ・上…サイズを選択 ・下…画質を選択 ・左…フラッシュモードを選択 ・右…セルフタイマーを選択 ● **動画 / 静止画 / 音声再生モード** ・上…消去するファイルを選択 ・下…保護するファイルを選択 ・左 / 右…再生するファイルを選択 ● **MP３モード** ・上…ファイルを削除 ・下…ファイルを保護 ・左/右…再生するファイルを選択 ● **システム設定モード** ・上 / 下…メニューアイテムを選択
	シャッター ボタン	● **動画 / 音声モード** ・記録の開始または停止します ● **静止画モード** ・写真を撮影します ● **動画/MP３/音声再生モード** ・再生の開始または停止します ● **静止画再生モード** ・縮小表示に切換えます
	マクロ スイッチ	スイッチを 位置まで移動すると、**マクロ機能**が有効になります
	再生 ボタン	このボタンを押して**再生モード**に入ります

ボタン	名称	機能
	ディスプレイ / ヘルプボタン	このボタンを一度押すとすべての OSD アイコンが表示されます。もう一度押すとすべての OSD アイコンがオフになります。さらにもう一度押すと、すべてのボタン機能を説明するヘルプ図が表示されます
	スクロールホイール	**● 動画 / 静止画モード** ・上…ズームイン ・下…ズームアウト ・押してから上 / 下に押すと、露出補正が調整できます **● 動画再生 / 音声再生モード** ・ホイールを押すと再生が一時停止し、もう一度押すと再開します ・上 / 下…再生音量を調整します **● 静止画再生モード** ・上 / 下…表示したい静止画を選択します ・押してから上 / 下に押すと、静止画がズームイン / ズームアウトします ● MP3モード ・上/下…音量を調節します ・押す…一曲リピート/全曲リピート/リピートオフを切り替えます **● システム設定モード** ・上 / 下でメニューを選択し、押して決定します

2 準備

本製品の準備と使い方の確認をします。ここでは、電源操作、乾電池の装着とSDカードの挿入、日付や時刻、言語の設定など、基本機能について説明します。詳細設定機能については、後の章を参照してください。

2.1 SDカードの挿入

本製品にSDカードを取り付けることにより、静止画、動画、またはその他ファイルの保存容量を追加できます。

本製品の動作仕様として、SD カードスロット内に SD カードが挿入されている状態においては動画モードの録画、再生、静止画モードの撮影､再生､音声モードの録音､再生が SD カードに対して行われます。本製品内蔵のメモリ（32MB、一部はシステムに使用）は SD カードスロットに SD カードが挿入されていない状態の時のみに有効になります。
また、パソコンとの USB 接続の際も上記同様の動作になります。

1. 本製品の電源が入っていないことを確認して、LCD スクリーンカバーを開き 、SD カードの収納部カバーを開きます 。

2. 図のように、ラベル面を上にして、SD カードを挿入します。
（確実にロックするまで押し込んでください）

3. SD カード収納部のカバーを閉じます。

注意

注意：画面上に赤い鍵マークが表示されている場合、SD カードが書き込み禁止状態にありますので、動画、静止画、音声の保存はできません。その際は、一旦SD カードを取り出してプロテクトスイッチを解除してから再度ご使用ください。

2.2 電池の装着

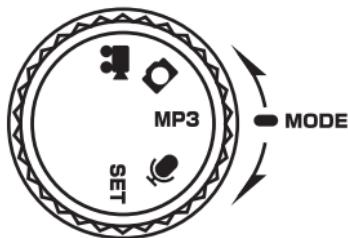
本製品は、単4型乾電池を４本使うように設計されています。付属の乾電池、または製造元または販売店が推奨する乾電池のみを使用してください。

注意

電池は＋－の極性をよく確かめて装着してください。正しく装着されていない場合、故障・発火の原因となる可能性があります。

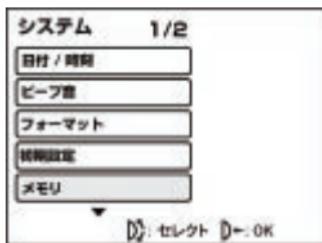
1. 乾電池収納カバーを開けます。

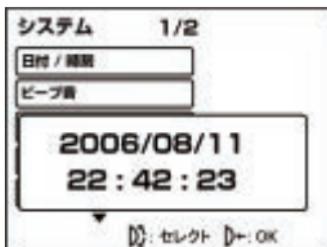
2. 図のとおり、乾電池を挿入します。

3. 乾電池収納カバーを閉じます。

2.3 はじめて電源をオンにする

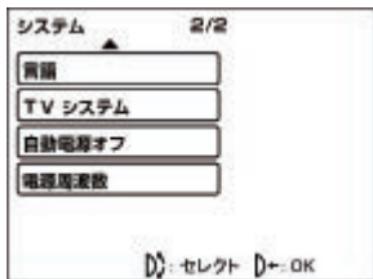
電源スイッチをスライドさせてビデオカメラのオン / オフを切換えます。

2.4　モードの変更

モードダイヤルを操作することにより、動画、静止画、MP3、音声
および システム設定 の５つのモードに切換える事ができます。

1	🎥	動画モード（動画の撮影、再生）
2	📷	静止画モード（静止画像の撮影、再生）
3	MP3	MP3 モード（音楽ファイルの再生）
4	🎤	音声モード（音声の録音、再生）
5	SET	システム設定モード（各種設定）

2.5 ご使用前に

本製品のご使用を開始する前に、日付と時刻、および言語の設定をしてください。

2.5.1　日付と時刻の設定

1. ビデオカメラの電源をオンにして、モードダイヤルをシステム設定モードまで動かします。スクロールホイールの上 / 下で日付/時刻を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

2. 方向パッドの左 / 右で、合わせる項目 (年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒) を選択し、上 / 下で数字を調整します。

3. スクロールホイールを押して変更を保存します。

2.5.2　言語の設定

1. 本製品の電源をオンにして、モードダイヤルをシステム設定モードまで回転します。スクロールホイールの上下で、言語を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

2. スクロールホイールの上下で、希望の言語を選択します。言語を選択した後、スクロールホイールを押して決定します。

2.6 動画を撮る / 再生する

2.6.1 動画を撮る

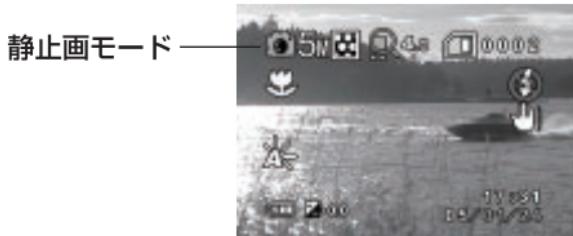
1. 本製品の電源をオンにして、モードダイヤルを動画モードに切換えます。

2. シャッターボタンを押して、録画を開始します。
3. シャッターボタンをもう一度押すと、録画が停止します。
4. 録画したファイルは、ファイル名 (***.ASF)をつけて、内蔵メモリ又はSDメモリーカードに保存されます。

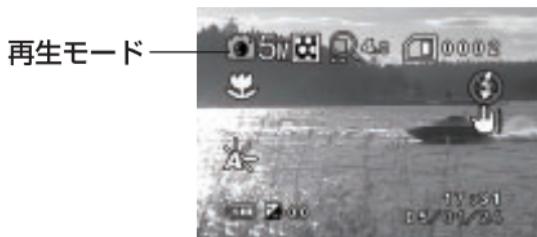
注意

サイズと画質は、録画可能な時間に影響を与えます。
サイズと画質を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなり、録画可能な時間が減少します。

2.6.2　動画を再生する

1. 動画モードで再生ボタンを押すと、最新の動画ファイルが液晶画面に表示されます。

2. 方向パッドを左または右に押して、表示する動画ファイルを選択します。シャッターボタンを押して、 動画ファイルの再生を開始します。
3. 再生中にスクロールホイールを押すと、一時停止します。
4. 方向パッドを上に押している間は早送り、下に押している間は巻き戻します。
5. 動画ファイルを表示しているとき、スクロールホイールを上または下に動かして音量を調整します。
6. 再生中にシャッターボタンを押すと、再生が停止します。
7. 表示されている動画ファイルを消去するには、方向パッド を上に押します。OKを選択し、シャッターボタンを押して消去します。
8. 方向パッドを下に押すと表示されている録画ファイルが保護されます。保護されている動画ファイルには、アイコンがスクリーンに表示されます。方向パッドを下に押すと動画ファイルの保護が取消しされます。
9. 再生ボタンを再び押すと動画モードに戻ります。

2.7　写真を撮る / 見る

2.7.1 写真を撮る

1. 本製品の電源をオンにして、静止画モードに切換えます。

2. 液晶画面を使って被写体を決定します。

3. シャッターボタンを押して、静止画を撮影します。
（フラッシュモードがオートに設定されている場合、暗所での撮影時は自動的にフラッシュが発光します。）

4. 静止画は、ファイル名 (***.JPG) をつけて、自動的に内蔵メモリ又はSDメモリーカードに保存されます。

2.7.2 撮った写真を見る

1. 静止画モードで再生ボタンを押すと、最新の静止画が液晶画面に表示されます。

2. 方向パッドを左または右に押して、静止画を選択します。

3. スクロールホイールを押すと拡大再生モードに入ります。拡大再生モードではスクロールホイールで倍率変更、方向パッドで表示画面の場所を動かせます。

4. 表示されている静止画を消去するには、方向パッドを上に押します。OK を選択し、シャッターボタン を押して消去します。

5. 方向パッドを下に押すと現在の静止画が保護されます。静止画が保護されているとき、アイコンがスクリーンに表示されます。方向パッドを再び下に動かすと静止画の保護が取消されます。

6. 再生ボタンを再び押して静止画モードに戻ります。

2.8 音楽ファイル(MP3)を再生する

2.8.1 音楽を再生する

1. 本製品の電源をオンにして、モードダイヤルをMP3モードに切換えます。

2. 方向パッドを左または右に押して、音楽ファイルを選択し、シャッターボタンを押して、音楽ファイルを再生します。
3. スクロールホイールを使って音量を調整します。
4. スクロールホイールを押して再生を一時停止します。
5. 再生停止中にスクロールホイールを押してリピートモードを変更できます。
6. シャッターボタンをもう一度押すと、停止します。
7. 方向パッドを上に押すと現在の音楽ファイルが消去されます。方向パッドを使って、OKを選択し、シャッターボタンを押して消去します。
8. 方向パッドを下に押すと現在の音楽ファイルが保護されます。ファイルが保護されているとき、アイコンがスクリーンに表示されます。方向パッドを下に押すと音楽ファイルの保護が取消されます。

注意

MP3ファイルは元のファイル名に関係なく転送した順番に**0001**、**0002**と数字で表示されます。

ファイル転送につきましては、「**2.10.1 マスストレージ**」を参照してください。

2.9　音声を録音する

2.9.1 音声を録音する

1. 本製品の電源をオンにして、音声モードに切換えます。

2. シャッターボタンを押して、録音を開始します。

3. シャッターボタンをもう一度押すと、停止します。

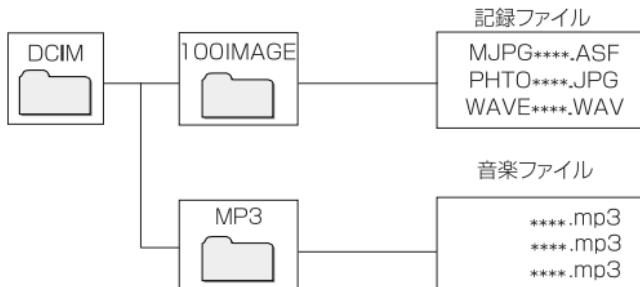
4. 音声は、ファイル名 (***.WAV) をつけて、自動的に内蔵メモリ又はSDメモリーカードに保存されます。

2.9.2 音声ファイルを再生する

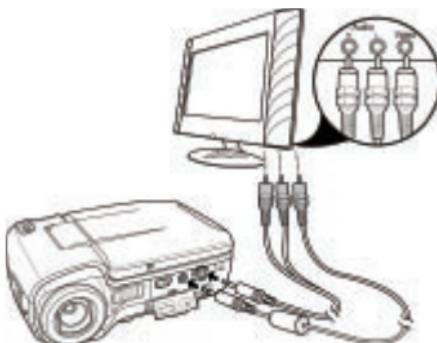
1. 音声モードで再生ボタンを押すと、最新の音声ファイルが液晶画面に表示されます。

2. 方向パッドを左または右に押して、再生する音声ファイルを選択します。シャッターボタンを押して、音声ファイルを再生します。
3. 音声ファイルを再生しているとき、スクロールホイールを使って音量を調整します。
4. スクロールホイールを押して再生を一時停止します。
5. シャッターボタンをもう一度押すと、停止します。
6. 方向パッドを上に押すと現在の音声ファイルが消去されます。方向パッドを使って、OK を選択し、シャッターボタンを押して消去します。
7. 方向パッドを下に押すと現在の音声ファイルが保護されます。ファイルが保護されているとき、アイコンがスクリーンに表示されます。方向パッドを下に押すと音声ファイルの保護が取消されます。
8. 再生ボタンを再び押して音声モードに戻ります。

2.10 パソコンに接続する

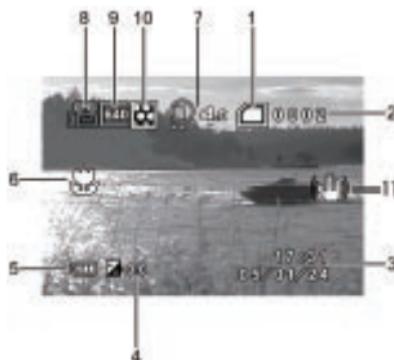
本製品本体を付属の専用USBケーブルでプリンタまたはパソコンに接続する事によって SDカードリーダ機能、またCD-ROMよりドライバをインストールすることにより PC Web カメラ機能を使用することができます。

詳しくは「**3.8 USBモード**」をご確認ください

2.10.1 USB マスストレージ

本製品は、USBマスストレージ機能に対応しています。
したがって、本製品をSDカードリーダーとして扱うことができます。本製品を接続していると、Windows エクスプローラに、内蔵メモリまたは挿入さている SDカードがマスストレージとして表示されます。ファイルは、通常のディスク操作と同じ方法でドラッグ アンドドロップで転送することができます。
SD メモリーカードのフォルダ構成は下図のような構成となっています。

＊＊＊＊ には番号（MP3ファイルには名前）が入ります

2.11 TV に接続する

図に示すように、付属の専用AVケーブルで TVにビデオカメラを接続します。

TVに接続することにより、TVで動画、静止画、音楽をお楽しみいたけます。

3 ビデオカメラの詳しい使い方

詳しい使い方を確認します。

3.1 動画モード

動画モードを使って動画を撮影し、内部メモリまたは SD カードに保存します。

3.1.1　動画モードアイコン

各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

1		メモリステータスアイコン ：SD カードが挿入されていることを示します ：SD カードが使用されていることを示します ：SD カードが挿入されていないことを示します
2	0002	保存されている動画ファイルの数を表示します
3	17:31 05/01/24	日付と時間
4		露出補正 (EV) アイコン
5		バッテリアイコン
6		マクロアイコン
7	4.0	ズームアイコン

8		動画モードアイコン
9		サイズアイコン
10		画質アイコン
11		手ブレ軽減アイコン

3.1.2　マクロ機能を使う (動画)

マクロ機能をオンにする事により、より近い被写体を撮影する事ができます。マクロ機能では、被写体に約 15 ～ 16 cm まで近づけることができます。

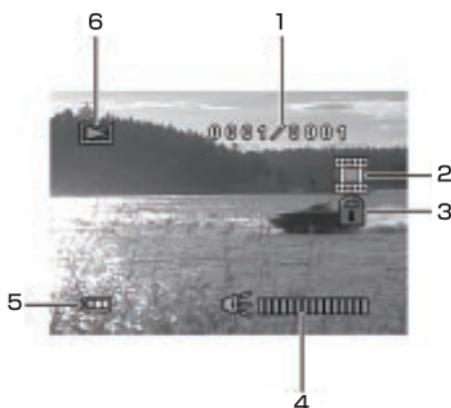
動画モード時に、本製品横のマクロスイッチを アイコンに切り替える事で、マクロ機能が有効になります。マクロ機能を有効にすると、アイコンが液晶画面に表示されます。

3.1.3　ズーム機能を使う (動画)

本製品には最大 4 倍のデジタルズーム機能が搭載されています。
スクロールホイールを上に動かすと被写体をズームアップします。
スクロールホイールを下に動かすと被写体からズームアウトします。
また、現在のズーム倍率が画面に表示されます。

3.1.4 クイックアクセス機能 (動画)

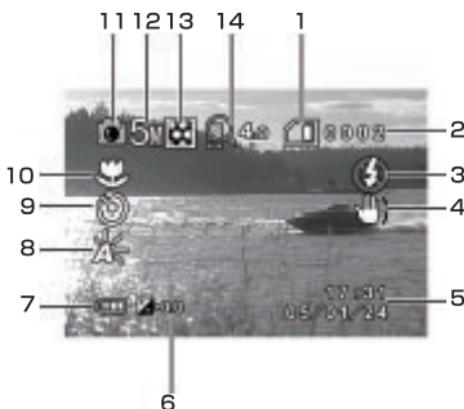
方向パッドまたはスクロールホイールを押して、現在の設定を調整することができます。

動画モードで、方向パッドを使用してクイックアクセス機能を表示し、画質、特別効果 および ホワイトバランスを簡単に調整することができます。またスクロールホイールを押して、露出補正（EV）を表示します。

調整を行うには、次を実行します。

1. 方向パッドを下に押して画質を選択します。
2. 方向パッドを右に押して特別効果を選択します。
3. 方向パッドを左に押してホワイトバランスを選択します。
4. スクロールホイールを押して、露出補正（EV）を表示します。スクロールホイールの上下で、EV 値を選択し押して決定します。

3.2 動画再生モード

動画再生モードを使って、内部メモリまたは SD カードに保存された動画ファイルを再生します。

3.2.1　動画再生モードアイコン

各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

1		現在の動画ファイルのナンバーと保存されている動画ファイルの総数を表示します
2		動画再生モードアイコン
3		ファイル保護アイコン
4		音量レベル
5		バッテリアイコン
6		再生モードアイコン

3.3 静止画モード

静止画モードを使って写真を撮影し、内部メモリまたは SD カードに保存します。

3.3.1 静止画モードアイコン

各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

1		メモリステータスアイコン ：SD カードが挿入されていることを示します ：SD カードが使用されていることを示します ：SD カードが挿入されていないことを示します
2	0002	保存されている動画ファイルの数を表示します
3		フラッシュアイコン
4		「手ブレ注意」アイコン このアイコンが表示されたときは、シャッター速度が著しく遅くなるなど手ブレが起きる可能性が高いことが予想されます
5	17:31 05/01/24	日付と時間
6	±0.0	露出補正 (EV) アイコン
7		バッテリアイコン

8		ホワイトバランスアイコン
9		セルフタイマーアイコン
10		マクロアイコン
11		静止画モードアイコン
12		サイズアイコン
13		画質アイコン
14		ズームアイコン

3.3.2 マクロ機能を使う (静止画)

マクロ機能をオンにする事により、より近い被写体を撮影する事ができます。マクロ機能では、被写体に約 15 ～ 16 cm まで近づけることができます。

静止画モード 時に、本製品横のマクロスイッチを アイコンに切り替える事で、マクロ機能が有効になります。マクロ機能を有効にすると、アイコンが液晶画面に表示されます。

マクロ機能時はフラッシュが自動的に発光禁止になります。

3.3.3 ズーム機能を使う (静止画)

本製品には最大 4 倍のデジタルズーム機能が搭載されています。

スクロールホイールを上に動かすと被写体をズームアップします。

スクロールホイールを下に動かすと被写体からズームアウトします。

また、現在のズーム倍率が画面に表示されます。

3.3.4 クイックアクセス機能 (静止画)

方向パッドまたはスクロールホイールを押して、現在の設定を調整することができます。

静止画モードで、方向パッドを使用してクイックアクセス機能を表示し、サイズ、セルフタイマー、画質 および フラッシュ を簡単に調整することができます。またスクロールホイールを押して、露出補正(EV)を表示します。

調整を行うには、次を実行します。

1. 方向パッドを上に押してサイズを選択します。
2. 方向パッドを下に押して画質を選択します。
3. 方向パッドを左に押してフラッシュモード を選択します。
4. 方向パッドを右に押してセルフタイマーを選択します。
5. スクロールホイールを押して、露出補正(EV)を表示します。スクロールホイールの上下で、EV 値を選択し押して決定します。

注意

フラッシュは十分な電池残量があり暗い場所でのみ作動します。
マクロ機能をオンにしている場合、フラッシュは発光できません。

3.4 静止画再生モード

静止画再生モードを使って、内部メモリまたは SD カードに保存された静止画ファイルを再生します。

3.4.1　静止画再生モードアイコン

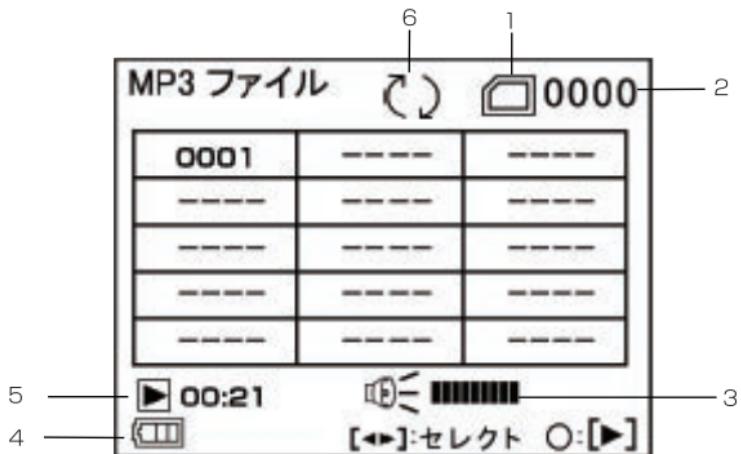
各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

1	0001/0001	現在の静止画ファイルのナンバーと保存されている静止画ファイルの総数を表示します
2		ファイル保護アイコン
3		再生モードアイコン
4		バッテリアイコン

3.4.2 サムネイル機能

静止画再生モードに入っているとき、シャッターボタンを押すとサムネイルとして画像が表示されます。

1. 静止画再生モードになっていることを確認します。
2. シャッターボタンを押すと、液晶画面に 4つのサムネイルが表示されます。

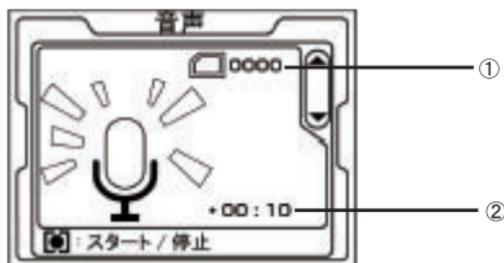
3. 方向パッドを使ってサムネイルを選択し、シャッターボタン を押すと選択した静止画ファイルを表示します。

注意
サムネイル表示できるのは静止画ファイルのみです。

3.5 音楽(MP3)モード

音楽モード(MP3)を使って内部メモリまたはメモリーカードに保存された音楽ファイルを再生します。

3.5.1 音楽(MP3)モードアイコン

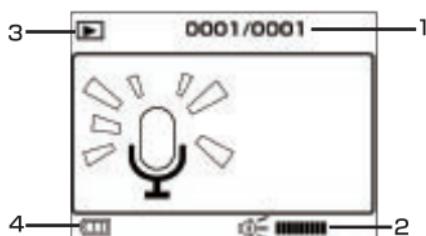
各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

1		メモリステータスアイコン ：SD カードが挿入されていることを示します ：SD カードが使用されていることを示します ：SD カードが挿入されていないことを示します
2	0002	保存されている動画ファイルの数を表示します
3		音量レベル
4		バッテリアイコン
5		再生状態アイコン/再生時間
6		リピートアイコン

1. 方向パッドを上に押すと現在の表示中の音楽ファイルを消去するか選択できます。OK を選択し、シャッターボタンを押して消去します。
2. 方向パッドを下に押すと現在の音楽ファイルが保護されます。ファイルが保護されているとき、アイコンがスクリーンに表示されます。方向パッドを再び下に押すとファイルの保護が取消されます。

ファイルを保護することにより、誤消去を防止できます。

3.6 音声モード

音声モードを使って音声を録音し、内部メモリまたは SD カードに保存します。

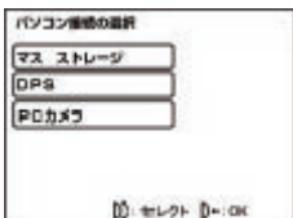
3.6.1 音声モードアイコン

各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

1	録音された音声ファイルの数を表示します
2	音声録音開始からの経過時間を表示します

3.7 音声再生モード

音声再生モードを使って、内部メモリまたは SD カードに保存された音声ファイルを再生します。

3.7.1 音声再生モードアイコン

各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

1	0001/0001	現在の音声ファイルのナンバーと保存されている音声ファイルの総数を表示します
2		音量レベル
3		再生モードアイコン
4		バッテリアイコン

1. 方向パッドを上に押すと現在の表示中の音声ファイルを消去するか選択できます。OK を選択し、シャッターボタン を押して消去します。
2. 方向パッドを下に押すと現在の音声ファイルが保護されます。ファイルが保護されているとき、アイコンがスクリーンに表示されます。方向パッドを再び下に押すとファイルの保護が取消されます。

ファイルを保護することにより、誤消去を防止できます。

3.8 USB 接続モード

付属の専用USBケーブルを使用し、本製品をダイレクトプリント対応のプリンタまたはパソコンに接続してください。その後本製品の電源を投入すると下図のようにUSB モードの画面に切換ります。方向パッドで項目を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

方向パッドを使ってオプションを選択し、スクロールホイールを押して決定します。

3.8.1 USBマスストレージ機能を使用する

「**2.10.1 USB マスストレージ** 」参照

3.8.2 DPS 機能を使用する

DPS（ダイレクトプリント）対応のプリンタ機器等をご使用の場合、
付属の専用USBケーブルを使って接続しDPS を選択することにより、
本製品から直接、画像をプリントすることが可能になります。

3.8.3 PC Web カメラ機能を使用する

注意

PC Web カメラとして使用する場合、対応するすべてのオペレーティングシステムでドライバをインストールする必要があります。
詳しくは「**5 ソフトウェアとドライバをインストールする**」をご確認ください。

ドライバインストール完了後「パソコン接続の選択画面」でPCカメラを選択すると、テレビ会議等のアプリケーションにてビデオカメラをPC Webカメラとして使用できます。

4 メニューを使う

カメラの設定方法および詳細設定機能の使用方法を確認します。

4.1 動画メニュー (動画の設定画面)

動画モードに入っているとき、メニューボタンを押すと動画メニューが表示されます。

4.1.1　サイズ (動画)

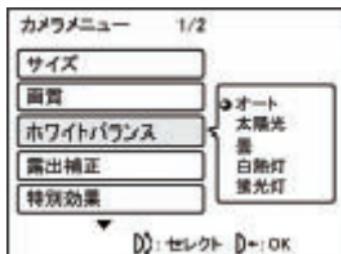
この機能を使って、動画のサイズを設定します。サイズが大きいほどより大きなメモリ容量を消費します。

1. 動画モードになっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使ってサイズを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、D1(780×480)、VGA(640×480)または QVGA(320×240) を選択し 、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタン を押して、メニューを終了します。

4.1.2　画質 (動画)

画質には、ファインと標準の２種類の設定があります。ファインは画像が精細になりますが、より大きなメモリ容量を消費します。

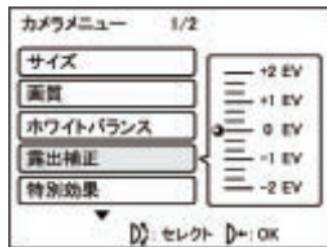
1. 動画モードになっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って画質を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、ファイン または標準を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

4.1.3　ホワイトバランス (動画)

この機能を使って、異なる照明条件の色差を補正します。ホワイトバランスが オートの場合、本製品が各照明条件に対して適切になるよう自動補正を行います。

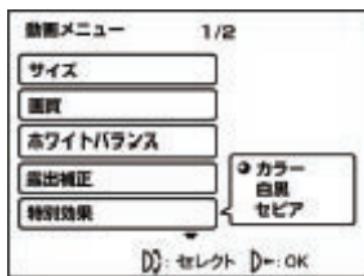
1. 動画モードになっていることを確認します。

2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って ホワイトバランス を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。

3. スクロールホイールを使って、オート、太陽光、曇、白熱灯 または蛍光灯を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

4.1.4　露出補正 (EV) (動画)

この機能を使って、露出を変更します。逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光があたったときに白く飛んでしまうことがあります。このような時、露出補正 (EV) をします。通常、この値はゼロに設定され、被写体が黒く写っている場合プラス側に、白く飛んでいる時にマイナス側に設定します。

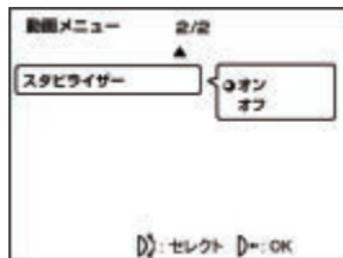
1. 動画モードになっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って 露出補正を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、-2EV～+2EVの範囲で EV 値を調整し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

4.1.5　特別効果 (動画)

この機能を使って、撮影する動画の色調をカラー (標準)・白黒・セピアに変更します。

1. 動画モード になっていることを確認します。

2. メニューボタン を押し、スクロールホイールを使って特別効果を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。

3. スクロールホイールを使って、カラーモード、白黒、またはセピアを選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

4.1.6 スタビライザー(手ブレ軽減機能)

この機能を使って、簡易的な手ブレの軽減を行います。

1. 動画モードになっていることを確認します。メニューボタンを押して、動画再生メニューを表示します。
2. スクロールホイールを使って、スタビライザーを選択します。スクロール ホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、オンまたは オフを選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

注意

本機能はレンズによる光学補正ではなく、取り込んだ映像をもとにソフトウェア上で補正を行っております。映像シーンによっては効果が表れない場合がありますのであらかじめご了承ください。

4.2 動画ファイルメニュー

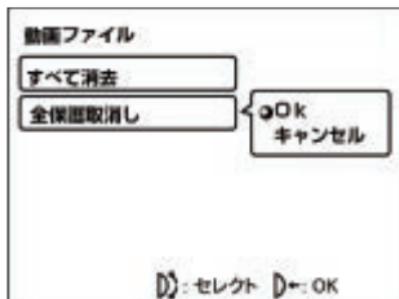
動画ファイルメニューを使って、内部メモリまたは SD カードに保存した動画ファイルを管理します。

注意

消去されたファイルは、回復することができません。SD カードや本製品内の保存されたデータを不用意な消去などから守る為、こまめにパソコン等に転送されることをお勧め致します。また、保護されたファイルは、消去されません。消去する前に、まずファイルの保護を取消す必要があります。

4.2.1 すべて消去 (動画)

この機能を使って、保存されている動画ファイル (保護されているファイルを除く) をすべて消去します。

1. 動画モードになっていることを確認します。再生ボタンを押し、メニューボタンを押して動画ファイルメニューを表示します。
2. スクロールホイールを使って、すべて消去を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、OK またはキャンセルを選択します。スクロールホイールを押して決定します。
4. OK を選択、決定した場合、すべての保護されていない動画ファイルが消去されます。

5. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

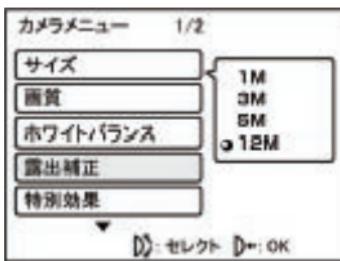
4.2.2　全保護取消し（動画）

この機能を使って、消去されないように保護された動画ファイルの保護をすべて取消します。

1. 動画モードになっていることを確認します。再生ボタンを押し、メニューボタンを押して動画再生メニューを表示します。
2. スクロールホイールを使って、全保護取消しを選択。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、OK またはキャンセルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。
4. OK を選択、決定した場合、すべての動画ファイルの保護が取り消されます。

5. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

注意

ファイルを保護するには、再生モードで方向パッドを下に押します。ファイル保護アイコンが表示され、ファイルが保護されていることを示します。

4.3 カメラメニュー

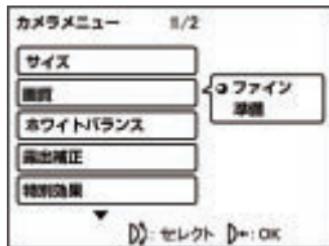
静止画モード 時に、メニューボタンを押すとカメラメニュー が表示されます。

4.3.1 サイズ (静止画)

この機能を使って、静止画のサイズを設定します。サイズが大きいほどより大きなメモリ容量を消費します。

1. 静止画モードになっていることを確認します。
2. メニューボタン を押し、スクロールホイールを使ってサイズを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、1M、3M、5M または 12M を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

静止画の撮影サイズについて

1M	1メガピクセル	= 1280x960
3M	3メガピクセル	= 2048x1536
5M	5メガピクセル	= 2593x1944
12M	12メガピクセル	= 4000x3000※

※内部ソフトウェア処理により実現しています。

4.3.2　画質 (静止画)

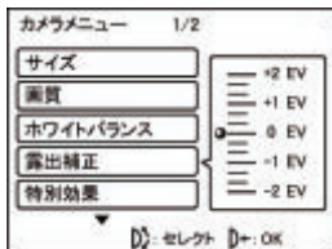
画質には、ファインと標準の２種類の設定があります。ファインは画像が精細になりますが、より大きなメモリ容量を消費します。

1. 静止画モードになっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って画質を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、ファインまたは準備を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

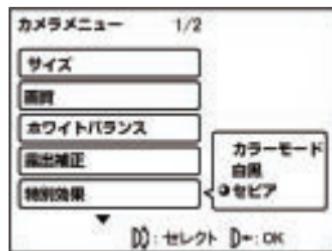
4.3.3 ホワイトバランス (静止画)

この機能を使って、異なる照明条件の色差を補正します。ホワイトバランスが オートの場合、本製品が各照明条件に対して適切になるよう自動補正を行います。

1. 静止画モードになっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って ホワイトバランスを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、オート、太陽光、曇、白熱灯 または蛍光灯を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

4.3.4　露出補正 (EV)（静止画）

この機能を使って、露出を変更します。逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光があたったときに白く飛んでしまうことがあります。このような時、露出補正 (EV) をします。通常、この値はゼロに設定され、被写体が黒く写っている場合プラス側に、白く飛んでいる時にマイナス側に設定します。

1. 静止画モードになっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って露出補正 を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、-2EV～+2EV の範囲でEV値を調整し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

4.3.5 特別効果 (静止画)

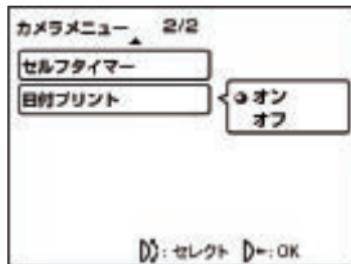
この機能を使って、撮影する静止画の色調をカラー (標準)・白黒・セピアに変更します。

1. 静止画モードになっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って特別効果を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、カラーモード、白黒、または セピアを選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

4.3.6 セルフタイマー

シャッターボタンを押してから 10 秒もしくは 20 秒後に静止画を撮影することが出来ます。

1. 静止画モードになっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使ってセルフタイマーを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使ってオフ、10秒､または 20秒 を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。
5. シャッターボタンを押してセルフタイマーを開始します。設定した時間 (10 秒または 20 秒) 後、静止画が撮影されます。

セルフタイマー動作中は本製品正面の「セルフタイマー LED」が点滅します。

4.3.7 日付プリント

この機能を使って、撮影する静止画の右下に、日付を挿入することができます

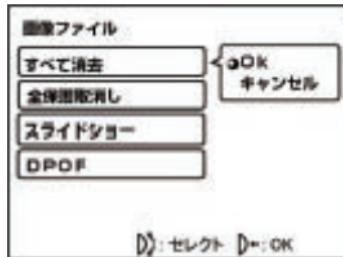
1. 静止画モードになっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って日付プリントを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って オン、オフを選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

注意

過去に撮影した静止画に後から日付を挿入することは出来ません。

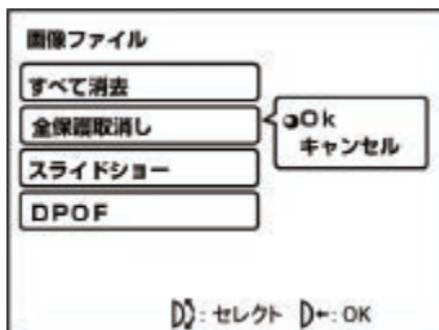
4.4 画像ファイルメニュー

画像ファイルメニューを使って、内部メモリまたは SD カードに保存した静止画ファイルを管理します。

注意

- 消去されたファイルは、回復することができません。SD カードや本製品内の保存されたデータを不用意な消去などから守る為、こまめにパソコン等に転送されることをお勧め致します。
- 保護したファイルは、消去できません。消去する前に、まずファイルの保護を取消す必要があります。

4.4.1 すべて消去 (静止画)

この機能を使って、保存されている静止画ファイル (保護されているファイルを除く) をすべて消去します。

1. 静止画モードになっていることを確認します。再生ボタンを押し、メニューボタンを押して画像ファイルメニューを表示します。
2. スクロールホイールを使って、すべて消去を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、OK またはキャンセルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。
4. OK を選択、決定した場合、すべての静止画ファイルが消去されます。

5. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

4.4.2　全保護取消し（静止画）

この機能を使って、消去されないように保護された静止画ファイルの保護をすべて取消します。

1. 静止画モードになっていることを確認します。再生ボタンを押し、メニューボタンを押して画像ファイルメニューを表示します。
2. スクロールホイールを使って、全保護取消しを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、OK またはキャンセルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。
4. OK を選択、決定した場合、すべての動画ファイルの保護が取消されます。

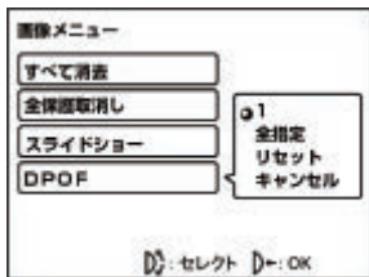
5. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

注意

ファイルを保護するには、再生モードで方向パッドを下に押します。ファイル保護アイコンが表示され、ファイルが保護されていることを示します。

4.4.3 スライドショー

この機能を使って、保存されている静止画を一定の間隔で順番に表示します。

1. 静止画モードになっていることを確認します。再生ボタンを押し、メニューボタンを押して画像ファイルメニューを表示します。
2. スクロールホイールを使ってスライドショーを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使ってスタートまたはキャンセルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4. 静止画が 1 枚ずつ表示されます。シャッターボタンを押すと、スライドショーが終了します。

4.4.4 DPOF

本製品は DPOF (Digital Print Order Format) 機能を使って、プリントしたい写真、プリント枚数の情報を SD カードに書き込むことができます。

1. 静止画モードになっていることを確認します。再生ボタンを押し、メニューボタンを押して画像ファイルメニューを表示します。
2. スクロールホイールを使って DPOF を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って以下のような項目を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

1： 最新の写真がスクリーンに表示されます。方向パッドを上または下に動かしてプリント枚数を設定し、方向パッドを左または右に押して他の写真を選択します。写真 1 枚につき、最大 9 枚までプリント枚数を設定できます。

全指定： 選択するとすべての画像を 1 枚ずつ印刷します

リセット： 選択すると設定をリセットします

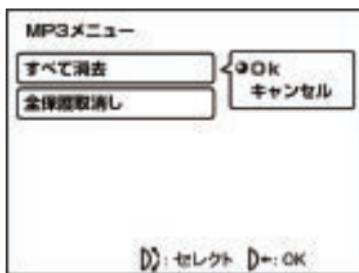
キャンセル： 選択するとすべてをキャンセルします

注意

DPOF機能を使用するには、SDカードが必要です。

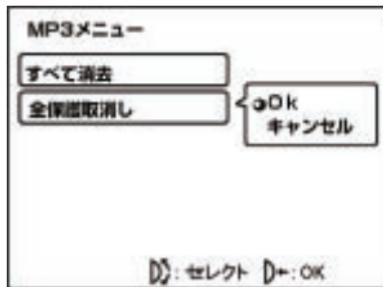
本機能は、プリンタの仕様に依存します。ダイレクトプリント対応のプリンタでも使用できない場合があります。

4.5 MP3(音楽)ファイルメニュー

MP3ファイルメニュー を使って、内部メモリまたはSD カードに保存し音楽ファイルを管理します。

> **注意**
>
> - 消去されたファイルは、回復することができません。SD カードや本製品内の保存されたデータを不用意な消去などから守る為、こまめにパソコン等に転送されることをお勧め致します。
> - 保護したファイルは、消去できません。消去する前に、まずファイルの保護を取消す必要があります。

4.5.1 すべて消去 (MP3)

この機能を使って、保存されている音楽ファイル (保護されているファイルを除く) をすべて消去します。

1. MP3モードになっていることを確認します。再生ボタンを押し、メニューボタンを押してMP3ファイルメニュー を表示します。
2. スクロールホイールを使ってすべて消去を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、OK またはキャンセルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。
4. OK を選択、決定した場合、すべての音楽ファイルが消去されます。

5. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

4.5.2 全保護取消し (MP3)

この機能を使って、消去されないように保護された音楽ファイルの保護をすべて取消します。

1. MP3モードになっていることを確認します。再生ボタンを押し、メニューボタンを押して音楽ファイルメニューを表示します。
2. スクロールホイールを使って全保護取消しを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、OK またはキャンセルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。
4. OK を選択、決定した場合、すべての MP3ファイルの保護が取消されます。

5. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

注意

ファイルを保護するには、再生モードで方向パッドを下に押します。ファイル保護アイコンが表示され、ファイルが保護されていることを示します。

4.6 音声ファイルメニュー

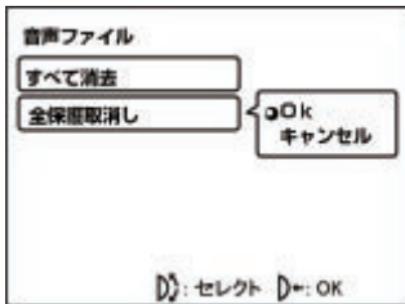
音声ファイルメニュー を使って、内部メモリまたは SD カードに保存し音声ファイルを管理します。

注意

- 消去されたファイルは、回復することができません。SD カードや本製品内の保存されたデータを不用意な消去などから守る為、こまめにパソコン等に転送されることをお勧め致します。
- 保護したファイルは、消去できません。消去する前に、まずファイルの保護を取消す必要があります。

4.6.1 すべて消去 (音声)

この機能を使って、保存されている音声ファイル (保護されているファイルを除く) をすべて消去します。

1. 音声モードになっていることを確認します。再生ボタンを押し、メニューボタンを押して 音声ファイルメニューを表示します。
2. スクロールホイールを使ってすべて消去を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、OK またはキャンセルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。
4. OK を選択、決定した場合、すべての音声ファイルが消去されます。

5. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

4.6.2 全保護取消し（音声）

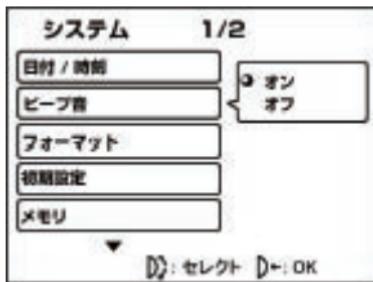
この機能を使って、消去されないように保護された音声ファイルの保護をすべて取消します。

1. 音声モードになっていることを確認します。再生ボタンを押し、メニューボタンを押して音声ファイルメニューを表示します。
2. スクロールホイールを使って 全保護取消しを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、OK または キャンセルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。
4. OK を選択、決定した場合、すべての音声ファイルの保護が取消されます。

5. メニューボタンを押して、メニューを終了します。

注意

ファイルを保護するには、再生モードで方向パッドを下に押します。ファイル保護アイコンが表示され、ファイルが保護されていることを示します。

4.7 システムメニュー

システムメニューは、さまざまなカメラ機能を設定するために使用します。

4.7.1 日付 / 時刻

「**2.5.1 日付と時刻の設定**」を参照してください。

4.7.2 ビープ音

1. システム設定モードに切換えます。
2. スクロールホイールを使って、ビープ音を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使ってオンまたはオフを選択し、スクロールホイールを押して決定します。

ビープ音とはスクロールホイール等を使った時の動作確認音のことです。

4.7.3 フォーマット

この機能を使って、SD カードまたは内部メモリを初期化します。このフォーマット動作によって、SD カードまたは内部メモリに記録されているすべてのデータが消去されます。

SDカードが挿入されている場合は SD カードを初期化し、SDカードが挿入されていない場合は内部メモリを初期化します。

1. システム設定モード に切換えます。
2. スクロールホイールを使って、フォーマット を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って OK またはキャンセルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。
4. OK を選択、決定した場合、すべてのファイルが消去され、初期化されます。

注意

初期化されたデータは、回復することができません。また、フォーマットを行うと保護をかけたファイルも消去されますのでご注意ください。SDカードや本製品内の保存されたデータを不用意な消去などから守る為、こまめにパソコン等に転送することをお勧め致します。

4.7.4 初期設定

この機能を使って、すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

1. システム設定モードに切換えます。
2. スクロールホイールを使って、初期設定を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って OKまたは キャンセルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4.7.5 メモリ

この機能を使って、メモリの空き容量と保存されている動画ファイル、静止画ファイル、音声ファイルの数を表示します。
SD カードが挿入されている場合は SD カードに保存されているファイルを、されていない場合は内部メモリに保存されているファイルを表示します。

1. システム設定モードに切換えます。

2. スクロールホイールを使って、メモリを選択します。スクロールホイールを押して決定します。

3. 保存されているファイル数と空きメモリ容量が、画面に表示されます。スクロールホイールをもう一度押して終了します。

4.7.6 言語

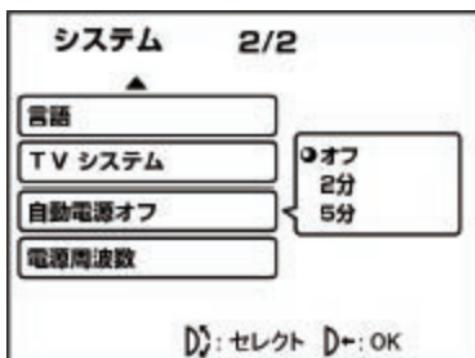
「**2.5.2 言語の設定**」を参照してください。

4.7.7 TV システム

注意

通常日本国内での使用時は NTSC になります。

この機能を使って、地域の TV システムを設定します。

1. システム設定モードに切換えます。
2. スクロールホイールを使って、TVシステムを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って NTSCまたはPAL を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

TV との接続については「**2.11 TV に接続する**」を参照してください。

4.7.8 自動電源オフ

この機能を使って、一定の時間操作が行われなかった場合、自動的に電源をオフにして節電することができます。

1. システム設定モード に切換えます。
2. スクロールホイールを使って、自動電源オフを選択。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使ってオフ、2分または5分 を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

4.7.9 電源周波数

この機能を使って、電源周波数の設定を変更することができます。
室内の蛍光灯下で撮影するときの画面のちらつき（フリッカー）をおさえるための補正方法を選択します。

1. システム設定モード に切換えます。
2. スクロールホイールを使って、電源周波数を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールを使って 60Hz または 50Hz を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

設定（50Hz）： 電源周波数が 50Hz の場合の補正をします。
主に東日本の電源周波数は、50Hz です。

設定（60Hz）： 電源周波数が 60Hz の場合の補正をします。
西日本の電源周波数は、60Hz です。

詳細は管轄の電力会社へお問い合わせください。

5 ソフトウェアとドライバをインストールする

本製品のドライバとソフトウェアのインストール方法を確認します。

5.1 PC Web カメラ

注意

すべてのWindowsオペレーティングシステム(Windows XP(32bit/SP2)/2000(SP4)/Vista(32bit)でビデオカメラをPC Webカメラとして使うには、ドライバをインストールする必要があります。

ビデオカメラは、PC Web カメラとして使うことができます。

以下の指示に従ってドライバをインストールしてください。

1. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。
2. CD-ROM を挿入すると自動的に以下の画面が表示されます。
3. ［インストール］ ボタンをクリックして、ドライバをインストールします。
4. 画面上の指示に従います。

5. [終了] をクリックしてコンピュータを再起動し、カメラドライバのインストールを終了します。

注意

OSによっては、インストール完了後に再起動を要求される場合があります。その場合は、画面の指示通りにコンピュータの再起動を行った後に本製品をコンピュータのUSBポートに接続して下さい。

6. ドライバインストールが正常に完了したコンピュータにビデオカメラを接続し液晶 モニタ上にて PC カメラを選択し、認識完了後、「システムプロパティ」から「デバイスマネージャ」を開き、「イメージングデバイス」カテゴリ内に「USB PC Camera 」が認識していることを確認してください。「USB PC Camera 」が認識できていれば、本製品はお使いの環境にて正常に認識されています。

CD-ROMが自動起動しない場合

付属CD-ROMをドライブに挿入後、自動的に起動しない場合はエクスプローラ等により付属CD-ROMを開き「InstallMgr.exe」をダブルクリックして起動します。

5.2　Presto ! Video Works

Presto! Video Works は、動画を編集するソフトウェアです。
Presto! Video Works をインストールします。

1. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。
2. CD-ROM を挿入すると自動的に以下の画面が表示されます。

3. ［インストール］ボタンをクリックして、インストールを開始し、画面上の指示に従います。

Presto! Video Works についての詳細は、アプリケーション内のヘルプファイルをご覧ください。

5.3 Presto! Mr. Photo

Presto! Mr. Photo は、写真管理ソフトウェアです。

Presto! Mr. Photo をインストールします。

1. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。

2. CD-ROM を挿入すると自動的に以下の画面が表示されます

3. ［インストール］ボタンをクリックして、インストールを開始し、画面上の指示に従います。

Presto! Mr. Photo についての詳細は、アプリケーション内のヘルプファイルをご覧ください。

5.4　付属ソフトウェアについて

すべての付属ソフトウェアについて、弊社ではサポートを行っておりませんので、あらかじめご了承願います。
また、MSN メッセンジャーや Yahoo メッセンジャー、skype 等、本製品を利用可能なビデオチャットソフトについても同様にサポート対象外とさせていただきます。

付録

製品仕様

画像素子	1/2.5 型 CMOS 撮像素子 5.17 メガピクセル
有効画素	500 万画素
記録メディア	SD メモリーカード [32MB ～ 2GB]
内蔵メモリ	32MB フラッシュメモリ (容量の一部はシステムで使用されます)
レンズ	固定フォーカスレンズ F/3.1(f=7.5mm) 35mm 換算 45.8mm
フォーカス範囲	標準 : 1.5m ～ 無限 マクロ : 15 ～ 16cm
動画記録方式	ASF
動画サイズ	D1(720 x 480) VGA(640 x 480)、QVGA(320 x 240) フレームレート : 30 fps (最大)
静止画	記録方式：JPEG (DPOF、EXIF) 記録画素数： 1MP（1280×960) 3MP（2048×1536） 5MP（2593×1944） 12MP（4000×3000 画像補正） 画質 : ファイン、標準
音声記録方式	WAV
ズーム	4 倍デジタルズーム（動画･静止画）
液晶モニタ	2.4型TFT液晶モニタ（480x240)
フラッシュ撮影	有効距離：1m 未満 フラッシュモード : オート / オフ

ホワイトバランス	オート/太陽光/曇/白熱灯/蛍光灯
露出補正 (EV)	−2.0 EV ～+2.0 EV
セルフタイマー	オフ /10/20 秒
搭載端子	映像出力端子×１、音声出力端子×１ USB端子×1(USB 2.0 FullSpeed)
信号方式	NTSC/PAL
シャッター速度	電子シャッター 1/4 ～ 1/2000 秒
自動電源オフ	オフ /2 分 /5 分
電源	単４形乾電池４本
外形寸法	幅98.3 × 高さ68.0 × 奥行37.0（mm）
重量	約136g (本体のみ)
使用時重量	約180g（電池:約50g、メモリカード約2g）
消費電力	3.0W

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	解決法
カメラの電源が入らない	電池が正しく装着されていません	電池を正しく装着してください (2.2「電池の装着」を参照)
	電池の残量がありません	電池を交換してください
カメラの電源が突然オフになる	自動電源オフ機能が有効になっています	電源を再びオンにしてください
	電池の残量が少なくなっています	電池を交換してください
撮影した画像がメモリに保存されない	画像を保存する前に、電源がオフになりました	バッテリアイコンが赤になったら、直ちに電池を交換してください
セルフタイマーを使って撮影しているとき、カメラの電源がオフになる	カメラの電池の残量が少なくなっています	電池を交換してください
画像のピントが合わない	被写体がフォーカス範囲から外れています	被写体との距離が適切ではありません。 被写体との距離にあわせて標準またはマクロモードを選択してください (3.3.2「マクロ機能を使う」を参照)
SDカードを使用できない	SDカードが保護されています	SDカードのプロテクトスイッチを解除してください
	メモリカードに他のカメラで撮影された非DCF画像が含まれています	SDカードをフォーマットしてください。 (4.6.3「フォーマット」を参照) SDカードをフォーマットする前に、ファイルのバックアップを取っていることをおすすめします
すべてのボタンが無効になっている	カメラを他のデバイスに接続しているとき、ショートしました	カメラから電池を取り外し、再び装着してください

故障・修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス　テクニカルサポート
URL	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 （年末年始、土・日・祝祭日を除く弊社営業日のみ。）
FAX	03-5421-2266（24 時間受付）
住所	〒153-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-20-22　三富ビル 4 階

テクニカルサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合がございます。ご確認はホームページにてお願い致します。

サポートを受ける為にはユーザー登録が必要になります。当社ホームページよりご登録お願い致します。

ご使用上のご質問、お問い合わせは当社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願い致します。

（http://www.green-house.co.jp/support/index.html）

◆本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載漏れ等お気付きの点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
◆乱丁、落丁はお取替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

GHV-DV24SD

GREEN HOUSE 株式会社 グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-22 三富ビル4F
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.1.0